

## 持続可能な開発目標（SDGs）推進本部 第13回会合 総理御発言

- 2015年9月、国連サミットにおいて全会一致で採択されたSDGs。本年はその「中間年」にあたります。
- 国際社会は、気候変動や感染症、食料・エネルギーをはじめとする複合的な課題に直面しており、SDGsは2030年までの達成が危ぶまれています。今こそ、社会の変革の実現に向けて、取組を加速化せねばなりません。
- 「人への投資」、科学技術・イノベーションやスタートアップ、GX、DXへの投資を柱とする「新しい資本主義」の下、成長と分配の好循環を実現し、民間の力を活用した社会課題の解決を図ります。
- 本年は、SDGs達成のための中長期的な国家戦略である「SDGs実施指針」を改定します。「誰一人取り残さない」社会の実現のため、多様性に富んだ、包摂的な社会を実現し、日本が国際社会の先頭に立って未来を切り拓きたいと考えます。
- 関係閣僚におかれては、このような考えに基づき定めた今般のアクションプランを着実に履行し、SDGsの達成に向けた国内外の取組を力強く推進していくよう、よろしくお願いいたします。

（了）